

令和6年第2回米子警察署協議会開催状況

開催日時	令和6年6月19日(水)午後2時から午後3時20分まで	
開催場所	米子警察署	
出席者	委員 (定数12人)	黒田会長、熊谷副会長、湯浅副会長 重親委員、小西委員、岡田(隆)委員 岡田(充)委員、吉村委員 以上8人
	警察	土井田署長、網谷副署長、清水刑事官 松村地域交通管理官、河口会計管理官、足立警務課長 後藤留置管理課長、西畑生活安全課長、小倉地域課長 隅刑事第一課長、金氏刑事第二課長、中村交通第一課長 津田交通第二課長、安本警備課長、警務課員 生活安全課員 以上16人
議 事 概 要		
<p>1 委嘱状交付 警察署長が、吉村委員に委嘱状を交付した。</p> <p>2 自己紹介 警察署長以下幹部に続き、協議会委員8人が自己紹介した。</p> <p>3 挨拶 会長と警察署長が挨拶を行った。</p> <p>4 協議事項（詐欺対策について） 生活安全課員が、特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の現状と対策について説明した。 委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：大半の特殊詐欺被害者は、電話がきっかけで被害に遭っており、ナンバーディスプレイ等の対策が有効だと分かっているが、導入できていない方が多いように思う。何か有効な手立てはないか。 警察：ナンバーディスプレイ等の導入が進まないのは、手続の煩雑さもあると考えるが、この手続については事業者との契約に関する事なので、警察が根本解決することは難しい。 警察としては、導入が進むように、巡回連絡や各種広報を通じて詐欺被害防止効果を丁寧に説明していきたい。 委員：詐欺とは違うが、いわゆるランサムウェアで社内データを暗号化され、身代金を要求されるなどのサイバー犯罪も耳にする。年に数回、県内企業でも電子メールに添付された添付ファイルを開いてコンピューターウイルスに感染したという話を聞く。企業を対象としたサイバーセキュリティに関するメッセージを発信してほしい。 警察：これまでも企業対象のサイバーセキュリティ対策広報を実施しているので、今後も継続していく。</p> <p>5 意見要望等への回答 委員からの意見要望、質疑等とそれに対する警察の回答は、次のとおりであった。 委員：高齢者を対象とした詐欺等の注意喚起を行っているが、若い年齢層へ注意を促せる良いアイデア、活動等があれば教えていただきたい。 警察：警察庁が芸能人を起用した「SOS47」という特殊詐欺プロジェクトチームを立ち上げており、動画配信やSNS等を通じて若年層を対象とし</p>		

た広報を展開している。

委員：このプロジェクトのポスターやチラシはあるか。あれば、学校等を通じて配布しているか。

警察：ポスター、チラシがあり、学校での防犯講習時などに配布や掲示を依頼している。

委員：児童に配布し、家庭に持ち帰ってもらえば保護者への広報になるのではないか。

警察：検討する。

委員：先ほど説明を受けた著名人を装った投資詐欺は、今後も被害拡大が予想されるが、看破する方法はあるか。

警察：芸能人、有名投資家等は、自身のホームページ等で注意喚起している場合があるので、参考としていただきたい。

委員：水際対策として金融機関、コンビニエンスストアで声掛けを依頼しているとのことだが、声掛けの対象となる金額は設定されているか。

警察：金額は設定していない。高額出金者、電子マネー購入者をはじめ、広く声掛けしてもらうように依頼している。金融機関等での声掛けにより水際阻止した事例が複数あるので、今後も金融機関等への協力依頼を継続していく。

委員：民間人が詐欺抑止に役立っているのは間違いないと思う。詐欺被害防止の電話サービス利用等について自治会で講習するなど、地域社会全体で守る意識が必要だと感じる。

6 視察

委員が、逮捕術特練員による逮捕術訓練を視察した。

7 その他

次回協議会は、令和6年9月頃開催する予定である。